

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月7日現在

機関番号：32636

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2012

課題番号：20401014

研究課題名（和文） アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究

研究課題名（英文） An Investigation on the Collection of Chinese and Japanese Calligraphy Works at U.S. Museums

研究代表者

河内 利治（KAWACHI TOSHIHARU）

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号：70249077

研究成果の概要（和文）：アメリカのフリーアギャラリー、ボストン美術館、ハーバード大学美術館、シアトルアジア美術館、バーネット&バート・コレクションに収蔵される「書跡」を五年間かけて調査し、中国書跡73点、日本書跡153点、合計230点の基礎データを収集・整理してデータベースを作成し、書跡画像データ写真集と研究報告書合冊本を公刊した。

研究成果の概要（英文）：Over the five years of our study, we conducted investigations into totally 230 (74 Chinese and 153 Japanese) works of calligraphy at Freer Gallery, Museum of Fine Arts Boston, Harvard University Museum, and Barnet & Burto Collection in the United States. Collected Images and data of the works were compiled into a database, based upon which we published photo with data albums and a bound volume of five-year reports.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	2,200,000	660,000	2,860,000
2009年度	2,000,000	600,000	2,600,000
2010年度	2,000,000	600,000	2,600,000
2011年度	2,000,000	600,000	2,600,000
2012年度	2,800,000	840,000	3,640,000
総計	11,000,000	3,300,000	14,300,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・美学・美術史

キーワード：書道／書跡／国際情報交換／ワシントンDCフリーアギャラリー／ハーバード大学美術館／バーネット&バート・コレクション／ボストン美術館／シアトルアジア美術館

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 2002年2月1日から3月31日の2ヶ月間、台湾行政院文化建設委員会基金管理委員会研究奨励費を受給し、「2002年アジア太平洋地区文化芸術研究員」として、「臺灣地區書法藝術教育發展現況的考察」を行い、台湾における書道文化の伝統と教育発展のあり方を研究した。

(2) ついで平成15・16年度文部科学省科学研究費を受給し、特定領域研究（A）「東アジア

出版文化の研究」（課題番号15021222）公募研究「中国書画の印刷出版環境をめぐる諸問題の文化史的研究」において「中国書跡」の変容を論じて書道文化の伝統性とその受容過程について考察した。

(3) さらに大東文化大学平成18年度長期海外研究員制度に採択され、「西洋の視座から見る〈書〉への基礎的調査」を研究テーマとして設定し、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストン市にある、ボストン大学人文学部

美術史学科客員研究員として、2006年4月1日から2007年3月31日の一年間、アメリカ国内の博物館および美術館などに収蔵される「中国書跡」の基礎的調査、アメリカの諸教学研究機関における書道教育の実態に対する基礎的調査を実施した。

(4)上記(3)の調査には『歐米收藏中国法書名蹟集』全四巻を参照し、ボストン美術館、ワシントンDCフリーア美術館、ニューヨーク・メトロポリタン美術館、プリンストン大学付属美術館を中心に調査し、河内「アメリカの四美術館の書跡」としてまとめ、かつ白謙慎「海外における中国書法研究の簡単な紹介」により、多くの美術史研究者と出会って実態把握を行い、アメリカにおける書道文化の国際性と地域性を考察した。

## 2. 研究の目的

(1)アメリカの博物館・美術館ならびに民間等に収蔵される「中国書跡」と「日本書跡」の基礎データの収集と整理を行い、将来的な網羅的データ化に向けての基盤を構築することを目的とし、そのための調査研究を行う。

(2)日本の伝統文化の一つである書道は、東アジアの一国としての日本が世界各国地域と連携を深める上で、国際性と地域性を有する重要な歴史的淵源と芸術的創造力をもっている。その一端を明確にすることも目的の一つである。例えばその証左として、アメリカ、中華人民共和国（台湾、香港、マカオを含む）、日本の研究機関ならびに民間において、「中国書跡（中国人が書いた書道作品）」と「日本書跡（日本人が書いた書道作品）」が数多く収蔵されている。なかでもアメリカにおけるその収蔵状況、研究状況を調査し、整理し、把握し、基盤を整備することは、日中米の芸術文化交流に繋がり、将来の日本の書道文化の継承発展のみならず、伝統文化自体のあり方を模索することに繋がると考えられる。

## 3. 研究の方法

(1)研究代表者、研究分担者、研究協力者（本学大学院生）が毎月会議を開催して打ち合わせを行い、国内外の研究協力者から情報提供を受ける。

(2)調査機関（博物館・美術館）と調査希望の書跡を、出版された書物から検出しながら持参する書跡データを作成する。

「中国書跡」は、まずは次の四書から図版（題籤・序跋等を含む）を精査する。

- ①鈴木敬編『中国絵画総合図録』第1巻～第5巻、東京大学出版会 1982～1983
- ②戸田禎佑・小川裕充編『中国絵画総合図録』続編第1巻～第4巻、東京大学出版会 1998.8～2001.6
- ③中田勇次郎／傅申編『歐米收藏中国法書名蹟集』全四巻、中央公論社刊 1981
- ④中田勇次郎／傅申編『歐米收藏中国法書名蹟集（明清篇）』全二巻、中央公論社刊 1983

ボストン美術館所蔵「日本書跡」は、次の二書から図版を精査する。

- ①アン・ニシムラ・モース／辻惟雄他編『ボストン美術館日本美術調査図録第1次調査（仏画/仏像/仏具/袈裟/能面/水墨画/初期狩野派/琳派）（図版編・解説編）』講談社 1997
- ②アン・ニシムラ・モース／辻惟雄他編『ボストン美術館日本美術調査図録第2次調査（江戸時代狩野派/土佐・住吉・復古大和絵派/肉筆浮世絵/曾我蕭白・伊藤若冲/近代）（図版編・解説編）』講談社 2003

他の「日本書跡」については、東京国立博物館資料館、東京文化財研究所資料閲覧室所蔵の図書資料などを参照する。

(3)調査機関（博物館・美術館）所蔵の書跡を各館のホームページに掲載される書跡と照合しながら、調査対象の書跡を絞り込み、最終の調査依頼書跡リストを作成して、調査機関に通知する。

(4)調査日程および調査依頼書跡の承諾を得た調査機関（博物館・美術館）を訪問して、海外学術調査研究を行う。その際、実地調査において書跡ごとの写真撮影をしながら計測し、調書を取る。

(5)帰国後、書跡データ、写真、調書を整理して、基礎データ台帳「品名・所在・作品番号・作者・時代・材質・員数・法量（cm）・備考・撮影日」を作成し、ファイリングする（撮影した写真画像を含む）。

(6)一年間の研究成果を報告書にまとめる。

(7)単年度の研究成果報告書五年間分を合冊にしてまとめ、基礎データ台帳をもとにした基礎データ集をまとめ、あわせてWEB上に公開できるよう整理する（閲覧制限有り）。

## 4. 研究成果

(1)実際に調査した機関は、ボストンのバーネット&パート・コレクション、ボストン美術館、ハーバード大学美術館、ワシントンDC

のフリーアギャラリー、シアトルのシアトルアジア美術館である。その実績を年度ごとに記すと次のようになる。

〈平成 20 年度調査機関と調査書跡数〉

- ①ボストン／バーネット&バート・コレクション：8月25日（月）「日本書跡」7点調査
- ②ボストン美術館：8月26日（火）～27日（水）「日本書跡」15点調査
- ③ワシントンDC／フリーアギャラリー：8月29日（金）「日本書跡」9点・「中国書跡」5点調査
- ④シアトル／シアトルアジア美術館：10月16日（木）「中国書跡」14点・「日本書跡」1点調査
- ⑤フリーアギャラリー：2009年3月23日（月）～27日（金）「日本書跡」20点調査

〈平成 21 年度調査機関と調査書跡数〉

- ①シアトルアジア美術館：8月3日（月）「日本書跡」11点調査
- ②ボストン美術館：8月5日（水）・6日（木）「日本書跡」15点調査
- ③フリーアギャラリー：8月25日（火）・26日（水）「中国書跡」13点調査

〈平成 22 年度調査機関と調査書跡数〉

- ①ハーバード大学美術館：8月2日（月）・3日（火）「日本書跡」15点・「中国書跡」6点調査
- ②バーネット&バート・コレクション：8月4日（水）「日本書跡」10点・「中国書跡」1点調査
- ③フリーアギャラリー：8月5日（木）・6日（金）「日本書跡」10点・「中国書跡」5点調査

〈平成 23 年度調査機関と調査書跡数〉

- ①フリーアギャラリー：8月23日（火）・24日（水）「日本書跡」10点・「中国書跡」14点調査
- ②ハーバード大学美術館：8月25日（木）・26日（金）「日本書跡」14点・「中国書跡」5点調査

〈平成 24 年度調査機関と調査書跡数〉

- ①ハーバード大学美術館：8月6日（月）～8月9日（木）「日本書跡」20点・「中国書跡」10点調査

以上から調査した書跡数は、「年度別」では、平成 20 年度 71 点、平成 21 年度 39 点、平成 22 年度 47 点、平成 23 年度 43 点、平成 24 年度 30 点で、合計 230 点になる。

「書跡別」では、「日本書跡」は、平成 20 年度 52 点、平成 21 年度 26 点、平成 22 年度 35

点、平成 23 年度 24 点、平成 24 年度 20 点で合計 157 点、「中国書跡」は平成 20 年度 19 点、平成 21 年度 13 点、平成 22 年度 12 点、平成 23 年度 19 点、平成 24 年度 10 点で合計 73 点を数える。

総計 230 点（日本書跡 157 点／中国書跡 73 点）を数えるが、これを一覧表にすると次のようになる。

	H20	H21	H22	H23	H24	計
B	7/0	—	10/1	—	—	17/1
M	15/0	15/0	—	—	—	30/0
F	9/5 20/0	0/13	10/5	10/14	—	49/37
S	1/14	11/0	—	—	—	12/14
H	—	—	15/6	14/5	20/10	49/21
計	52/19	26/13	35/12	24/19	20/10	157/73

B：バーネット&バート・コレクション  
M：ボストン美術館  
F：フリーアギャラリー  
S：シアトルアジア美術館  
H：ハーバード大学美術館  
左)日本書跡 / 右)中国書跡

(2) 上記各年度の調査書跡の報告書として、「平成 20 年度科学研究費補助金「基盤研究 B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題：アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究」, 同「平成 21 年度」, 同「平成 22 年度」, 同「平成 23 年度」, 同「平成 24 年度」を、大東文化大学書道研究所編『大東書道研究』16 号～20 号に公開した。

(3) 上記各年度の調査報告書を合冊にして、『アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究』を公開した。それには「はじめに：研究目的・計画・方法」および 230 点の「アメリカ収蔵書跡リスト一覧」を付した。

(4) 基礎データ台帳（写真画像を含む）をもとに『アメリカ収蔵中国・日本書跡基礎データ集（年度別・日中別・美術館別書跡画像データ写真集）2008』4 冊、『同 2009』3 冊、『同 2010』4 冊、『同 2011』5 冊、『同 2012』6 冊の計 22 冊を作成した。

(5) 五年分の研究成果、230 点の「アメリカ収蔵書跡リスト」を、研究成果データベースとして WEB 上に公開した（画像は閲覧制限あり）。

(6) 本研究調査の概要と成果の一部を、2012 年 7 月 7 日（土）大東文化大学書道学会第 13 回大会において、「アメリカ収蔵書跡の調査

研究」と題して報告した。「中国書跡」については、河内がフリーアギャラリー蔵「傅山書大字楷書楹聯(F111-C001)」を取り上げて、中国太原市晋祠博物館蔵の非常によく似た楷書作品との比較を行い、日本書跡については安達が、日本では新発見の資料となるハーバード大学美術館蔵「春日懐紙・春日本万葉集(H101-J008)」を詳細に紹介するとともに、日本に収蔵されている断簡と一連のものであることを明らかにした。資料として、平成20～平成23年度の4年間に調査した書跡全200点のリストを配布した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計15件)

- ①河内利治, 安達直哉, 平成24年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題: アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究, 大東書道研究, 査読無, 20, 2013, pp.160—173
- ②河内利治, 美的範疇と「書」, 中国美学範疇研究論集, 大東文化大学人文科学研究部東アジアの美学研究班報告書, 査読無, 1, 2013, pp. 97—121
- ③河内利治, 唐宋書法を受容——江戸時代中期『古法帖買目録』から見る, 大東書道研究, 査読無, 20, 2013, pp.36—68
- ④河内利治, 黄道周と沙孟海——書法審美範疇語〈適媚〉をめぐる, 中国文化, 査読有, 71, 2013, pp.69—81
- ⑤河内利治, 安達直哉, 平成23年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題: アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究, 大東書道研究, 査読無, 19, 2012, pp.156—171
- ⑥河内利治, 日本“書道”的原文, 中國書法, 査読有, 233, 2012, pp.178—181
- ⑦河内利治, 安達直哉, 平成22年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題: アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究, 大東書道研究, 査読無, 18, 2011, pp.192—208
- ⑧河内利治, 黄道周書跡考——蘇州庭園の二刻石をめぐる, 書学書道史学会編『書学書道史論叢2011』, 査読無, 2011, pp. 243—280
- ⑨河内利治, 徐渭之書法審美觀與“狂氣”, 『乾坤清氣——青藤白陽書畫學術研討會論文集』, 澳門藝術博物館, 査読有, 2010, pp.192—238
- ⑩河内利治, 安達直哉, 平成21年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題: アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究, 大東書道研究, 査読無, 17, 2010, pp.104—116
- ⑪河内利治, 沙孟海和黄道周——適媚為宗, 加以渾深, 浙江省書法家協會編『沙孟海論壇暨中国書法史学國際學術研討會論文集』, 査読無, 2010, pp.193—199
- ⑫河内利治, 徐渭の書法美学, 明清文人研究会編『徐文長』, 白帝社, 査読無, 2009, pp.132—144
- ⑬河内利治, 安達直哉, 平成20年度科学研究費補助金「基盤研究B〈海外学術調査〉」による研究報告——研究課題: アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究, 大東書道研究, 査読無, 16, 2009, pp.132—144
- ⑭河内利治, Lecture: The Influence of Chinese Calligraphy Technique on Japanese Calligraphic Saint KUKAI, 大東書学, 査読無, 9, 2009, pp.92—98
- ⑮河内利治, 日中書法伝授の一形態——韓方明と空海の筆法授受をめぐる言説について, 大東文化大学国際交流センター, 査読無, 2009, pp.55—66

[学会発表] (計7件)

- ①河内利治, 安達直哉, アメリカ収蔵書跡の調査研究, 大東文化大学書道学会第13回大会, 2012.7.7, 大東文化大学板橋校舎
- ②Toshiharu Kawachi, Zheng Banqiao's Companionship: With a Center Focus on Li Shan, The 5th International Conference "Issue of Far Eastern Literature", 2012.6.29, サンクトペテルブルグ孔子学院(ロシア・サンクトペテルブルグ)
- ③河内利治, 唐宋書法之授受——從日本江戸時代《古法帖買目録》來談起, 唐宋書法國際學術研討會, 2010.11.20, 明道大學(台湾・台中)
- ④Toshiharu Kawachi, A Glance over Guo Moruo's Calligraphy, First World Congress of The International Guo Moruo Academy (IGMA), 2009.8.27, Johns Hopkins University (アメリカ・ワシントンDC)
- ⑤河内利治, 傅山與遺民, 豪素深心——明末清初遺民金石書畫學術研討會, 2009.9.5, 澳門藝術博物館(中国・マカオ)
- ⑥安達直哉, 書道学の文化財保存への対応に関する諸問題, 第19回書学書道史学会大会, 2008.11.30, 神戸大学
- ⑦河内利治, 日中書法伝授の一形態——空海と韓方明の筆法をめぐる言説について, 大東文化大学・東北師範大学主催・日本學術振興会北京事務所共催シンポジウム「日本

と中国の明日への架け橋—言語・文化・社会, 日中比較を機軸として—, 2008. 10. 31, 東北師範大学外国語学院 (中国・長春)

[図書] (計 9 件)

- ①河内利治, 安達直哉, 大東文化大学河内利治研究室, 『アメリカ収蔵「書跡」の基礎データ収集と整理のための調査研究』, 2013, 総 82 頁
- ②安達直哉, 大東文化大学大学院書道学専攻, 『大東文化大学所蔵貴重書書跡図版目録Ⅲ』, 2013, 総 105 頁
- ③安達直哉, 大東文化大学大学院書道学専攻, 『大東文化大学所蔵貴重書書跡図版目録Ⅱ』, 2012, 総 92 頁
- ④安達直哉, 大東文化大学大学院書道学専攻, 『大東文化大学所蔵貴重書書跡図版目録Ⅰ』, 2011, 総 104 頁
- ⑤河内利治, 二玄社, 書道学概論 (書道テキスト第 1 巻), 2011, 総 61 頁
- ⑥河内利治, 二玄社, 書道辞典増補版, 2010, 総 325 頁
- ⑦安達直哉, 二玄社, 書跡文化財 (書道テキスト第 4 巻), 2010, 総 61 頁
- ⑧河内利治, 大東文化大学人文科学研究所, 九成宮醜泉銘 [模刻本], 2010, 総 43 頁
- ⑨河内利治, 大東文化大学人文科学研究所, 西嶽峯山廟碑 [雙鈎本], 2009, 総 32 頁

[その他]

ホームページ等

<http://done-labo.com/>

研究成果データベース (ホームページ内)

<http://lizhi.tabigeinin.com/laoshi2012/research/index.html>

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

河内 利治 (KAWACHI TOSHIHARU)

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号: 7 0 2 4 9 0 7 7

### (2) 研究分担者

安達 直哉 (ADACHI NAOYA)

大東文化大学・文学部・教授

研究者番号: 9 0 2 3 1 9 3 5

### (3) 研究協力者

次の海外研究者から情報提供を得た。

アン・ニシムラ・モース (ANNE NISHIMURA MORSE)

ボストン美術館・シニアキュレーター

ユキオ・リピット (YUKIO LIPPIT)

ハーバード大学・人文学部・教授

フミコ・克蘭ストン (FUMIKO CRANSTON)

ハーバード大学美術館・退職学芸員

メリッサ・モイ (MELISSA MOY)

ハーバード大学美術館・アシスタントキ

ュレーター

イエン・ヤン (YAN YANG)

ハーバード大学美術館・コレクションア

シスタント

ジョセフ・チャン (JOSEPH CHANG/張子寧)

フリーアギャラリー・研究員 (~H22)

サンフランシスコアジア美術館・顧問

ジョン・ワン (JOHN WANG/王純傑)

フリーアギャラリー・ボランティア

スーザン・キトリス (SUSAN KITSOULIS)

フリーアギャラリー・コレクションマネ

ージャー

白原 由起子 (SHIRAHARA YUKIKO)

元シアトルアジア美術館

(根津美術館・学芸員)

岡 みどり (OKA MIDORI)

Japan Society Curatorial Coordinator

(NYC)

次の国内研究者から情報提供を得た。

富田 淳 (TOMITA JUN)

東京国立博物館・学芸研究部

調査研究課・課長

高橋 裕次 (TAKAHASHI YUJI)

東京国立博物館・学芸企画部

博物館情報課・課長

倉橋 正恵 (KURAHASHI MASAE)

立命館大学・衣笠総合研究機構

ポストドクトラルフェロー

大東文化大学大学院文学研究科書道学専攻の大学院生に基礎データ作成・調書整理・写真撮影等の協力を得た。

高田 智仁 (TAKADA TOMOHITO) H20~H24

猪又 遥香 (INOMATA HARUKA) H20~H21

亀澤 孝幸 (KAMEZAWA TAKAYUKI) H21~H24